

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400260
事業所名	グループホーム ファミリア神の倉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し、回覧板により地域の情報を得ている。地域行事の案内は玄関に掲示し、できる範囲で参加するように努力している。中学生の職場体験の受け入れや子供110番の依頼を受けている。日々の散歩では近隣の方と顔見知りになり、挨拶を交わしたりミカンを頂くなど地域の一員として交流し信頼関係も深まっている。今まで続けてきた施設主催の納涼祭やボランティアの訪問などは、施設の状況が変化したため開催することが難しくなってきたが再開に向けて計画の立て直しをしていく方向にある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、いきいき支援センター職員の参加を得て年6回実施している。町内会長や民生委員への案内はしているが参加は得られていない。事業所の運営状況や活動内容、事故報告などを行い、参加者と意見交換をしている。参加者からの意見や提案等はその場で話し合い、サービスの向上に活かしている。家族には、個人情報保護のため議事録は送っていないがファイルして事務所に置いてあり、必要があれば面談時に話すようにしている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当窓口には介護保険更新の手続きや申請の代行業務などで直接出向いた折に、サービスの取り組みを伝えたりや生活保護にかかわる相談をたりして、情報交換をしながら良好な協力関係を築いている。職員は市主催の研修会に積極的に参加し、サービス向上へ繋げるように努めている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞いている。意見や要望などは、申し送りや介護支援経過記録に記載し、ミーティングで検討して情報を共有し運営に反映させるように努めている。家族からは面談時や行事の折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てるようにしているが、入居者や家族、職員それぞれの間で要望や意見の受け止め方に差が生じており、応えられない状況もある。今年度よりブログで入居者の様子や行事を登載して家族に知らせている。	評価	×
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○	○	×	